



シンポジウム 館山まるごと博物館

～文化遺産を保存・活用するまちづくり～

平成 26 年
2.16 (日)
13:30～
16:00

会場：たてやま夕日海岸ホテル

参加費：無料

館山市八幡 822 TEL0470-22-8111

世界遺産(ワールドヘリテージ)をめぐる旅が人気となり、地域の自然遺産や文化遺産が見直されています。特に、1971年にフランスで提唱された「エコミュージアム」という考え方は、地域全体の魅力的な自然遺産や文化遺産を「まるごと博物館」と見立てて、市民による生涯学習まちづくりの手法として全国に広がっています。

なかでも、20年にわたり文化財保存運動を展開してきた「館山まるごと博物館」の取り組みは、実践的なモデル事例として各方面から注目されています。房総半島南部の地域像を見つめ直してみると、海を通じて先人たちが培った“平和・交流・共生”の精神が見えてきます。「館山まるごと博物館」ではこれをまちづくりの理念として、文化遺産の保存・活用を呼びかけてきました。この活動は、地域住民の誇りと絆を育むとともに、共通の歴史をもつ地域間の連携として、広域「まるごと博物館」のまちづくり交流に発展しています。

少子高齢化がすすむ地域社会において、「館山まるごと博物館」の取り組みは何をもたらし、どんな未来を創造することができるのでしょうか。広く世界を見てきたエコミュージアムの研究者や博物館の学芸員の話をつきながら、その可能性と課題を探り、ともに話し合しましょう。

基調講演 大原 一興 (横浜国立大学大学院教授・日本エコミュージアム研究会前会長)

「文化遺産を活かしたエコミュージアムのまちづくり」



パネルディスカッション

林 浩二 (千葉県立中央博物館学芸員)

チヨン・イルジ (神奈川大学助手)

杉江 敬 (館山市教育委員会生涯学習課文化財係長)

愛沢 伸雄 (NPO 法人安房文化遺産フォーラム代表
・千葉大学講師)

コーディネーター：池田 恵美子 (同事務局長)

文化庁：文化遺産を活かした地域活性化事業

主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

運営：NPO法人全国生涯学習まちづくり協会 問合せ：090-6479-3498 awabunka@awa.or.jp

館山のヘリテージ見学会

歴史建物をまちづくりに活かそう!

平成 26 年
2.16 (日)
10:00~
11:30

椿の館・小原家庭園



集合：10時 館山市南条 観音寺前（徒歩5分）

築160年の和風建築で、離れは映画『赤い鯨と白い蛇』のロケに使われました。三代前の当主・小原金治（1859~1939）は、明治期に県議や衆議院議員を務め、安房銀行（千葉銀行の前身）や房総遠洋漁業株式会社の設立に関わり、安房の近代化に重要な役割を果たしました。その孫・謹治（1910~1999）は、館山市花となったツバキを700種類育てた研究者として世界に知られ、作付した新種は10種類あり、「布良」「相の浜」「山王」「ケー・オハラ」などと名づけられています。



青木繁《海の幸》誕生の家

小谷家住宅のひな祭り

JRバス「安房自然村」停留所から徒歩3分

築130年の和風建築は、日本を代表する名画『海の幸』が描かれた家として知られる館山市指定文化財です。青木繁を敬愛する全国の人びとによって保存運動が進められており、一般公開に向けて間もなく修復着工の予定です。

おひな様を飾って、皆さんをお待ちしています。



平成 26 年
3.1 (土)
~**3(月)**
10:30~15:30



見る・歩く・学ぶ・集う

安房国再発見!

館山まるごと博物館

NPO法人安房文化遺産フォーラム

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

【問合】0470-22-8271/090-6479-3498

awabunka@awa.or.jp